

## 小型家電のリサイクルをしています

久喜宮代衛生組合では、10月から小型家電のリサイクルを行っています。小型家電のリサイクル制度は、不要となった小型家電製品を国が認定した事業者に引き渡すことで、国内で金属やプラスチックを可能な限りリサイクルすることを目的としています。

収集方法は「燃やせないごみ」や「粗大ごみ」として集積所に出されたごみの中から各清掃センターで選別を行いますので、ごみの出し方に変更はありません。

### 注意事項

①エアコン、テレビ、冷蔵庫、

洗濯機、衣類乾燥機は従来どおり衛生組合では回収できません。購入した店舗等に引き渡してください。

②パソコンも従来どおり衛生組合では回収できません。製造メーカーか「パソコン3R推進協会（☎03・5282・7685）」にご相談ください。

③携帯電話、ハードディスク等に含まれる個人情報記録は必ず消去してください。

④乾電池が入っている場合は必ず抜いてください。

問合せ 久喜宮代衛生組合 ☎34・2042

## 宇津木妙子講演会開催

「体験から得たものゝ強い心と体のもとに食にあり〜」



宇津木 妙子さん

△監督)の宇津木妙子さんが自身の体験から健康づくりや食育についてお話しします。

ぜひご来場ください。

日時 12月15日(日) 13時30分

開演 13時30分

場所 久喜総合文化会館大ホール

※手話通訳者を配置します。

入場料 無料

申込み 不要

問合せ 健康医療課健康企画係 (内線3422)

市では、健康増進計画と食育推進計画の啓発のため、健康・食育まつりを開催します。講演では、NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長(元全日本女子ソフトボールチー

人権 それは愛

皆さんは 同和問題について 正しく理解しているでしょうか

日本では、歴史上人為的に作られてきた身分制度によって、住居や職業、結婚などを制限させられる差別を受けてきた人々がいます。特定の地域の出身であることを理由に差別される我が国固有の人権問題を同和問題といえます。

今日の社会では、差別が見えにくいものとなってきていて、表面的には同和問題は解決に向かっているようにも見えます。そのため同和問題をいまさら取り上げる必要はなく、そつとこのまま放置しておけば時間の経過とともに自然に解消する「寝た子を起こすな」というような消極的な考え方があります。「寝た子」とは「知らない人」、「起こす」とは「教える」ということで、「知らない人にわざわざ教えることはない。そつとしておけば解決する」という考え方は、このような考え方は、同和問題の解消につながるばかりか、差別に気付くことなく、かえって差別を拡大する結果を招くことにもなります。

差別のない人権が尊重される社会を目指すには、私たち一人一人が学校や職場、地域社会の中で学習や研修を通じ、同和問題を正しく理解し行動に移していくことが大切ではないでしょうか。

■12月4日から10日までは「人権尊重社会をめざす県民運動強調週間」です。国では、世界人権宣言が国際連合総会で採択された1948年12月10日を記念して、毎年12月4日から10日までを人権週間と定めています。

## 久喜市議会 福祉健康常任委員会を 菖蒲地区で開催します

市議会では、皆さまに議会を身近に感じてもらえるよう、常任委員会を各地区で開催します。

この機会に委員会を傍聴してみませんか。

日時 12月17日(火) 9時  
場所 菖蒲総合支所4階 第1集会室  
内容 委員会所管事項の審査  
定員 15人(当日会場先着順)  
問合せ 議会総務課議事係 (内線5115)